

安全な食を考える会のプロフィール

この会は、食の安全という観点からみんなで農薬や添加物などの情報を交換し学びながら、安全で美味しい《たべもの》を作り、食べることを目的として結成されました。

発足は2003年2月ですから今年は8年目になります。これまで次のような事業を実施してきました。

- ◎ 原発事故による放射能セシウムは愛川町内の茶生葉に基準値を越す汚染をもたらしました。放射能は基準値以下でも人の健康に影響します。特に食べ物からの内部被曝を少なくことが求められています。会ではセシウム吸収を少なく作物栽培と放射能の影響を少なくする食のあり方等を研究しています。
- ◎なたねは国産0.5%で輸入の多くは遺伝子組み換えです。会では休耕地を利用して共同でなたねを栽培し花見を催したり、種子は焙煎圧搾方式で油を絞り会員以外にも販売しました。
- ◎大豆は豆腐、みそ、納豆等日本人の食にとって欠くことの出来ないものですが、これも国産わずかに5%で又遺伝子組み換えが大部分です。会では津久井在来大豆をつくり味噌、豆腐に加工しました。その美味しさは格別です。大豆もなたねも有機栽培です。
- ◎有機野菜教室を年6回開いています。
- ◎有機栽培を推進する為の講演会を愛川町と共催で年2回開いてきました。
- ◎安全な食や環境を守る農業に取り組んでいる先進地の視察にも取り組んでいます。
- ◎市民農園、家庭農園の希望者に遊休農地を紹介し、その開設を援助しています。現在までに4ヶ所で約30人が有機野菜を作っています。
- ◎堆肥を共同で作ったり、良質な有機肥料を共同にて安価に購入しています。
- ◎安全な食のために、他団体と交流したり、自治体や国への要請活動も行っています。
- ◎会費は、1家族年2400円で《会》の趣旨に賛同する人は誰でも会員になることができます。愛川町民以外の方の参加も自由です。現に横浜、町田、相模原、厚木などからも参加しています。

安全な食を考える会

連絡先

愛川町角田 92

愛川町半原 287-4

会 長・諏訪部明

事務局・黒沢鍊太郎

046-285-0838

046-281-4981



登録団体 NO/2-2